TOPICS
トピックス

平成30年度 埼玉県人会

去る平成30年10月11日（木）19時より，埼玉県人お膝元の池袋，東京芸術劇場２階「AL TEATRO」にて平成30年度埼玉県人会が執り行われた。

当日は小谷田 宏 県校友会会長（61回）をはじめ，渡辺 裕 会員（68回），栗山 聡 会員（70回），渡沼敏夫会員（71回），松崎俊哉会員（76回）にご参加いただいた。学内からは小川智久附属病院総合診療科２准教授（82回）をはじめ７名の先生，さらに５年生を中心とした19名の学部生が参加した。５年生の新井修平さん，若山雄一郎さんの司会進行により開会し，小谷田会長より，平成最後の県人会を31名という大所帯で実施することができたことへの謝意が述べられた。

小谷田 県校友会会長

歓談の様子

続いて学内会員を代表して，小川准教授より県人会の役割，校友と交流することの大切さを述べられた。篠原健一郎生命歯学部麻酔学講座講師（85回）からは，学部生時代に友人に誘われ埼玉県入間郡市校友会の受付を行った思い出を語られ，本学および埼玉県人会のますますの発展を祈念し乾杯が行われた。

歓談の時間となると，校友同士のつながりの大切さを踏まえた学生らは校友の先生へ挨拶に行き，校友会の役割や国家試験に向けた心構えを熱心に聞き，美味しい食事を楽しんでいた。歓談の盛り上がりがピークとなったところで，栗山会員より閉会のご挨拶をいただき，一次会の締めとなった。ここでお開きになるかと思いきや，そこは埼玉県人のお膝元，池袋。終電時刻を気にすることなく松崎会員をはじめ多数の会員の出席により二次会が開催された。後期試験を受験したばかりの学部６年生も駆けつけ，５年生までにやっておくべきことを，現役の経験を交え後輩に熱弁していた。

埼玉県人会を開催するにあたり，県校友会から多大なご協力を賜ったことに感謝するとともに，県人会をここまで大きな組織に育て上げられた諸先輩にこの場を借りて敬意を表す。本学と埼玉県人会のますますの発展を祈念する。

平成30年度埼玉県人会　平成30年10月11日（木）　於　池袋「AL TEATRO」

（生命歯学部歯科保存学講座
助教　西田太郎・98回記）